保健師最前線

人生を太く、保健師として大きく

宇治田原町
杉原　生子さん

大阪の看護学校に３年、加えて保健学科に１年間通った後、和束町の看護師となった。公務員である父のアシスタントとして、幼い頃から地域のボランティア等に参加し、人を楽しませる、人の役に立つという経験を重ねてきた影響だろうか、社会に出たら地域の看護師、保健師になりたいという思いがあった。看護師として３年間の経験を積んだ後に、宇治田原町の保健師となり、現在４年目である。

宇治田原町には保健師が４人おり、それぞれの担当地区があるため、乳児から成老人すべてに関わっている。その中で、主業務としては成老人の健康づくりを担当し、健康づくり教室などを企画・運営している。

課題は教室参加者数が伸び悩んでいること。その課題を克服するため、メールで万歩計などの測定結果の通知ができる「メールで健康」という事業など、住民それぞれのライフスタイルに合わせることのできる教室を開催している。また、地域を歩き回り住民から直接ニーズを伺い、より必要性の高い教室の提案を心がけている。

その中で、旧村地区と新興地区とで住民の特徴が二極化してきていることもあり、様々な住民と接する機会があり、学ぶことも多い。

「人と人のつながりを大事にしたいですね。」
住民一人ひとりの環境が違うため、相手に共感できるようにしっかり話を聞くことでつながりを作っている。

大変なことも数々あるが、それを乗り越えたとき、人間としての魅力はより輝く。これからの人生で色々なことを経験していくことで、人生をより太く、そして保健師として大きく、何でも受け止め安心を与えられるように、今は前向きに前進していく。